

第1回 白鳥台地区みんなで作る義務教育学校推進協議会 議事録概要

日時	令和5年1月28日(土) 10:00~11:05
場所	白蘭小学校 1階多目的ホール
出席	別紙出席者名簿のとおり 市教委：伊藤教育長、坂口教育部長、西館教育部次長、高田教育指導参事、椎名指導主事、棟方指導主事、山口学校教育課長、船橋総務課長補佐、松尾学務係長、山本教職員係長、土橋総務係長、林主任、菊地主事、松浦主事
内容	<p>配布資料 ※2~7は事前に資料を配布</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 次第 2. あたらしい学校教育推進協議会等質疑項目まとめについて 3. 白鳥台地区みんなで作る義務教育学校推進に関する要項(案) 4. 白鳥台地区みんなで作る義務教育学校推進協議会 委員(案) 5. 白鳥台地区みんなで作る義務教育学校推進協議会 開催計画・内容(案) 6. 協議会・各部会と作業チーム 関係図 7. 白鳥台地区みんなで作る義務教育学校推進協議会等会議体一覧 <p>次第</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育長 挨拶 2. 市教委からの説明 <ul style="list-style-type: none"> ・【資料2】白鳥台地区みんなで作る義務教育学校推進に関する要項(案) ・【資料3】白鳥台地区みんなで作る義務教育学校推進協議会 委員(案) 3. 事務局から委員紹介 4. 市教委からの説明 <ul style="list-style-type: none"> ・【資料1】あたらしい学校教育推進協議会等質疑項目まとめについて ・【資料4】白鳥台地区みんなで作る義務教育学校推進協議会 開催計画・内容(案) ・【資料5】協議会・各部会と作業チーム 関係図 ・【資料6】白鳥台地区みんなで作る義務教育学校推進協議会等会議体一覧 5. 質疑応答 <p>内容</p> <p>資料1~6は、委員全員から承認を得た。</p> <p>質疑応答</p> <p>○現在の教室の状況が分からないため、作業チームから意見を伺いながら考えていけたらと思う。</p> <p>○「白鳥台地区あたらしい学校教育推進協議会」の際に、他の委員から「子どもたちの意見を取り入れて決めていきたい」という話があり、今回の作業チームに子どもたちに関する具体的な記載がないが、学校の中で子どもたちの意見を聞く機会を設け、部会や作業チーム等に反映していくということによいか。</p> <p>市教委：資料5の校歌・校章等検討部会と教室配置等の検討部会の一番下に各小部会があり、こちらでは若い方たちを中心に決めていくような形となっているが、小部会開催前に学校で子どもたちに対してアンケートを取っていただく形にしたいと考えている。作業チームでも同様に子どもたちにアンケート調査などを実施し、作業チーム、小部会、部会で検討を深めていきたいと考えている。</p>

○基本的には賛成だが、今の小学1年生が33名で、この子たちが中学校へ上がる時には体も大きくなっていき、現在の教室の広さでは対応できないと思われるため、体格に合った大きさに増築したり、クラスを分けるなど未来を見通して考えていけたらと思う。

市教委：現在計画案をつくっている段階であるため、今後、教室配置等検討部会でお示しする。その際に、改めて皆様のご意見を伺いながら、修正点や、今いただいたご意見にお答えできるようにしたいと考えている。

○昨日、政府の方からマスクの着用は個人の判断に任せるという方針が出た。教育委員会としてはこの方針に則るのではないかと考えているが、学校としてはどのように考えているか。

市教委：昨日正式に方針が打ち出され、まだ国の方から教育委員会に対し方策などは出されていないが、近い将来、マスクを外した学校生活が想定される。国からは様々な補助金でコロナに係る対策支援がされているため、安全に生活できるように換気の徹底や空気清浄機の設置など含めてコロナ対策について考えていく。

○スクール児童館では、現在、多目的ホール、学習室1室と隣室の3部屋を使用させていただいているが、今後中学生が入ってきた時に現状の広さを確保できるか心配している。中学生が入ることにより、部活動で使用する部屋が必要になってくるのではないかとと思われるため、放課後児童がスクール児童館に来て自由に運動できる場所の確保が必要だと思う。

市教委：今より後退する形にならないような教室配置を考えているところで、中学生の部活動についても作業チームで検討していただく形になる。現段階では何も決まっていないうが、例えば、小学生と中学生と一緒に遊べるような空間があっても良いのではないかと考えている。1年生から9年生まで一緒に環境で学んでいくので、放課後に小学生だけで集まって遊ぶのが良いのか、そこに中学生がお世話係として入っていくのが良いのかなど、今後開設までに検討を進めていけたらと思う。

○補助金の関係により、教室等配置検討部会が令和5年4月までにある程度の結論を出すとのことだが、令和7年度の開校なので、来年度もできるのではないかとと思う。今後の子どもの人口推移を「白鳥台地区あたらしい学校教育推進協議会」で示していただいた際は、将来的には1クラス15名程度になるとあったが、こういった内容も含めて考えると、今年の4月までにある程度の結論を出すというのは日程的にタイト過ぎるのではないかとと思う。

市教委：令和7年の開校を目指すためには、改修を令和6年度中に行う必要があり、改修に係る北海道への頭出しを令和5年度春先にしなくてはならないことになっている。既存施設を最大限活用して子どもたちが楽しく過ごせる環境をどのようにつくっていくかということで、タイトなスケジュールではあるがご協力をお願いしたい。

○今後、校歌・校名を考えていくと思うが、今までの市内の新設統合校を見ると、「基本的に両校の名称は使用しない」となっていたと思われるが、今後も変わらないのか、または自由に選べるようにしていくのか教えていただきたい。本室蘭は、昔は「元室蘭」で室蘭の中心だったので、伝統ある本室蘭の名称はぜひ残したいと考える。

市教委：今、特別にルールをつくってはいないが、白蘭小学校・本室蘭中学校両方の名前を使ってはいけないというルールをつくるつもりはないため、真っ新たな形で検討を進めたいと思う。陣屋小学校・本室蘭小学校・白鳥台小学校の3つを併せて白蘭小学校として平成30年に開校したが、まだ日も浅く、白蘭という名前も捨てがたいと考えている。そういった皆様の忌憚のない意見の中から、最終的には子どもたちが一番喜ぶ校名に決めることができればと思っている。

○学校が新たに統合されることで、今後高校受験を控える子どもたちの精神的ケアについて気になるところである。

○私は小学生の娘と息子がおり、娘が中学3年生の時に小中一貫校になるが、娘はまだ実感がない様子で、家庭の中でも話題として出てきていない状況だが、高校受験に関わってくる時期のため、親として目をかけてあげないといけない時期ではあるが、同時に先生方にもご協力いただけたらと思う。

市教委：子どもたちが高校受験に際し不安を持つことがないように、校長先生や教頭先生、教員、教育委員会もサポートしていきたいと考えている。

○今後人数が減少しても、本当に現状の広さで教室の配置の検討を進めて良いのか。「白鳥台地区あたらしい学校教育推進協議会」で喜門岱小学校の特認校の話があったが、少人数で楽しいというメリットがある反面、逃げ場がないという意見も出ている。今後、室蘭市内の他学区から通うことができるような制度も見据えているのであれば、それも含めて検討していく必要があると考える。

○私からも同様に、他の地域から白鳥台の義務教育学校に子どもを入学させたいという希望があった場合に、教育委員会の方でどのような対応をとるのか伺う。

市教委：人数が少なくなって本当に良いのかという議論も当然あるため、白鳥台地区義務教育学校の特認校化や不登校特例校化の話も、今後出てくるものと考えている。教室の配置は、例えば特別支援教室を1つの教室を半分にして使用するようなことも考えており、この学校ができることで、白鳥台地区の義務教育学校に通う子どもが減少せず、単純な人口動態推計で減っていき、少しでも緩やかな状態もしくは維持できるような学校を目指していきたいと考えている。今後は、特認校化や不登校特例校化についても検討していかなければならないと思っているが、喜門岱小学校についての議論もあるため、もう少し先の話になっていくと考えている。

<終了>